

古代アメリカ学会 第30回研究大会・総会 （於 国立民族学博物館）

プログラム 12月6日（土）

09：30 受付・入室開始

09：55 開会のことば

【調査速報 10:00-12:10】

座長：市川彰

①10：00～10：15

「チアパス州内陸部における製塩関連遺跡の発掘調査」

白鳥祐子（立正大学）

ブレント・ウッドフィル（ウインスロップ大学）

②10：15～10：30

「メキシコの学校博物館に関する調査」

村野正景（静岡大学）

渡辺裕木（慶應義塾大学）

③10：30～10：45

「カンパナユック・ルミ遺跡第7次発掘調査速報：神殿における石造階段の発見」

松本雄一（国立民族学博物館）

ユリ・カベロ・パロミーノ（ペルー国立サン・マルコス大学）

④10：45～11：00

「チュパ・ビスカパルカ遺跡における第2次発掘調査」

土井正樹（関西外国語大学）

フレディ・ワマン・リラ（チュパ遺跡考古学プロジェクト）

メリア・ルス・キンタニージャ（チュパ遺跡考古学プロジェクト）

—休憩〈11:00-11:10〉—

座長：渡部森哉

⑤11：10～11：25

「ペルー、ワヌコ盆地の地方発展期に関する予備的調査：クルスパタ遺跡の事例から」

佐藤優音（総合研究大学院大学）

金崎由布子（東京大学総合研究博物館）

大谷博則（クエバ・デ・ラス・ピラミデス考古学プロジェクト）

村瀬正紘（総合研究大学院大学）

マリッサ・カッサーニ（ペルー国立サン・クリストバル・デ・ワマンガ大学）

ケビー・フローレス（ペルー国立サン・クリストバル・デ・ワマンガ大学）

ペドロ・アンヘレス（ペルー国立サンティアゴ・アントネス・デ・マジョロ大学）

ホセ・オノフレ（ペルー文化庁ワヌコ支局）

⑥11：25～11：40

「パコパンパ考古遺跡複合における紡織とラクダ科家畜導入に関する一考察」

荒田恵（天理大学附属天理参考館）

関雄二（国立民族学博物館）

鵜澤和宏（東亜大学）

フアン・パブロ・ビジャヌエバ（ペルー国立サン・マルコス大学）

ダニエル・モラーレス（ペルー国立サン・マルコス大学）

⑦11：40～11：55

「古代文化の解釈プロセスにおける博物館の役割—ペルー共和国北海岸ランバイエケ地域を例に」

三浦彩（山形大学）

⑧11：55～12：10

「ペルー北海岸ワカ・ファチョの発掘調査」

服部拓（山形大学）

中島瑠花（山形大学）

松本剛（山形大学）

ガブリエラ・デ・ロス・リオス（ランバイエケ複合考古学プロジェクト）

ジャン・ポール・ニエベス・コルドバ（ランバイエケ複合考古学プロジェクト）

渡辺幸奈（京都大学）

三森小夏（山形大学）

—休憩〈12:10-13:10〉—

【研究発表 13 : 10～16 : 25】

座長：荘司一歩

⑨13 : 10～13 : 35

「モチエ～ランバイエケ移行期における粗製土器の編年-ワカ・ソレダーの発掘調査成果から-」

渡辺幸奈（京都大学）

松本剛（山形大学）

ガブリエラ・デ・ロス・リオス（ランバイエケ複合考古学プロジェクト）

服部拓（山形大学）

中島瑠花（山形大学）

三森小夏（山形大学）

⑩13 : 35～14 : 00

「儀礼と景観の結節としての低密度・分散型都市「シカン」ーアンデス文明における都市概念の再構成」

松本剛（山形大学）

ガブリエラ・デ・ロス・リオス（ランバイエケ複合考古学プロジェクト）

渡辺幸奈（京都大学）

服部拓（山形大学）

中島瑠花（山形大学）

三森小夏（山形大学）

⑪14 : 00～14 : 25

「社会名称「タウンティンスユ」の源泉」

大平秀一（東海大学）

—休憩 14:25-14:35—

座長：郷澤圭介

⑫14 : 35～15 : 00

「オルメカからマヤへ：言語学からの視点」

八杉佳穂（国立民族学博物館）

⑬15 : 00～15 : 25

「マヤ文字の繰り返し記号（22A）の機能」

磯和樹（京都大学）

—休憩 15:25-15:35—

座長：白鳥祐子

⑭15：35～16：00

「D・ドゥランとA・テソソモクの史料におけるシャーマニズムの主題について」

岩崎賢（神奈川大学）

⑮16：00～16：25

『『クロニカ・メヒカーナ』に見るメシーカ人意識——征服戦争の記述から」

井上幸孝（専修大学）

【総会 16:40-17:40】

プログラム 12月7日(日)

08:45 受付開始

【調査速報 9:00-12:35】

座長：小川雅洋

①9:00～9:15

「図像研究の可能性：BIZEN 中南米美術館・デンバー美術館收藏のヒスイ製品」

久保山和佳（東北大学 日本学術振興会特別研究員 PD）

②9:15～9:30

「チャルチュアパ遺跡の都市化について」

伊藤伸幸（名古屋大学）

③9:30～9:45

「ホンジュラス、キミスタン谷の調査—ラ・コロサ遺跡—」

寺崎秀一郎（早稲田大学）

④9:45～10:00

「ホンジュラスのマヤ文明世界遺産「コパンのマヤ遺跡」における最新調査成果報告」

中村誠一（公立小松大学）

—休憩〈10:00-10:10〉—

座長：松本雄一

⑤10:10～10:25

「アンデス形成期のフロンティアにおける地域間交流」

山本睦（山形大学）

オスカル・アリアス（テュレーン大学）

⑥10:25～10:40

「ビルカバンパ地方のインカ道について」

渡部森哉（南山大学）

⑦10 : 40～10 : 55

「圧痕レプリカ法によるクントゥル・ワシ遺跡出土土器の分析」

莊司一歩（山形大学）

井口欣也（埼玉大学）

ビクトル・バスケス（アルケオビオス）

テレサ・ロサーレス（トルヒーヨ大学）

⑧10 : 55～11 : 10

「古代アンデス染織品の染料分析」

浅見恵理（埼玉大学）

西澤弘恵（東京大学）

金崎由布子（東京大学総合研究博物館）

大崎綾子（女子美術大学）

瀬川かおり（女子美術大学）

—休憩〈11:10-11:20〉—

座長：山本睦

⑨11 : 20～11 : 35

「遺産と社会的記憶—ペルー・カハマルカ州パコパンパ村における考古遺産と無形文化遺産の統合戦略—」

サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ（立命館大学）

関雄二（国立民族学博物館）

⑩11 : 35～11 : 50

「2025 年度ペルー北部ワカ・ブラバ遺跡発掘調査速報」

手嶋啓仁（埼玉大学）

ルイス・アルベルト・レイムンド・ルメ（ペルー国立サン・マルコス大学）

⑪11 : 50～12 : 05

「アンカシュ県北部におけるレクワイ期およびワリ期の遺跡分布と遺構・遺物に関する報告」

吉川主浩（南山大学）

⑫12 : 05～12 : 20

「ペルー北部ヘケテペケ川における地形形成作用と文明形成期の土地利用に関する調査」

鶴見英成（放送大学）

苅谷愛彦（専修大学）

縫村崇行（専修大学）

大谷博則（有限責任個人企業 Otani Hironori E.I.R.L.）

カルロス・モラレス（ペルー文化省）

⑬12 : 20～12 : 35

「ペルー北部高地エル・パラシオ遺跡における儀礼的コンテキストと動物利用— 2012 年発掘資料の予備調査 —」

清家大樹（聖マリアンナ医科大学）

渡部森哉（南山大学）

—休憩〈12:35-14:00〉【ポスターセッション推奨時間】—

ポスター①

「ペルー天野プレコロンビアン織物博物館資料に基づく笛吹きボトルのタイプ分類の再考」

吉田晃章（東海大学）

真世土マウ（岡山県立大学）

鶴見英成（放送大学）

森下矢須之（BIZEN 中南米美術館）

ポスター②

「笛吹きボトルの形態と音色の変化に関する比較研究：エクアドル資料調査を中心に」

真世土マウ（岡山県立大学）

吉田晃章（東海大学）

鶴見英成（放送大学）

森下矢須之（BIZEN 中南米美術館）

ポスター③

「古代アメリカ 文明のマンガ的想像力 ～メソアメリカ編」

小林貴徳（専修大学）

宮野元太郎（東亜大学）

ポスター④

「古代アメリカ 文明のマンガ的想像力 ～アンデス編」

宮野元太郎（東亜大学）

小林貴徳（専修大学）

【研究発表 14 : 00～15 : 50】

座長：福原弘識

⑭14 : 00～14 : 25

「中米・エルサルバドルのウスルタン様式土器に含まれる火山ガラス」

北村繁（新潟大学）

村野正景（静岡大学）

市川彰（国立民族学博物館）

⑮14 : 25～14 : 50

「テオティワカンの石材選好にみられる石の価値—儀礼的文脈より出土した黒曜石製品を中心に—」

千葉裕太（岡山大学）

—休憩 〈14:50-15:00〉—

座長：井上幸孝

⑯15 : 00～15 : 25

「モニュメントの先行研究・「石柱の広場」複合体発掘調査から推測されるテオティワカンの国家政体」

杉山三郎（岡山大学文明動態学研究所、アリゾナ州立大学）

杉山奈和（岡山大学文明動態学研究所、カリフォルニア大学リバーサイド校）

⑰15 : 25～15 : 50

「マヤ文明の起源と地域間交流：メキシコ、アグアダ・フェニックス遺跡の石器分析を中心に」

青山和夫（茨城大学）

猪俣健（アリゾナ大学）

15:50 閉会のことば

発表時間は、調査速報 15 分（発表 12 分、質疑応答 3 分）、
研究発表 25 分（発表 20 分、質疑応答 5 分）です。